

「させない」

見守り隊結成

「声かけや見守りに関係性を作ることを目標に、必要に応じて福

祉関係機関と連携し、孤立させない地域を目指すもの。高齢化による社会的孤立を防ぎ、地域とのつながりを維持させる取り組みを推進する。

森永会長は「自分の身近にいる高齢者を見守り、これからの安心安全なまちづくりのために頑張っていきたい」と抱負。

立ち上げに協力した社会福祉協議会の新田健夫会長は「関係団体と連携し、幅広い『気づき』のもとにサポートが必要と判断された高齢者を生活面で多種多様に支えていきたい」とあいさつした。

垣市の総人口あたり5人に1人が高齢者で、2030年には4人に1人が高齢者となる予定という。

「香典返し」

石垣市平得1-7番地の11の白道直行さんは、妻の白道銘子さんの香典返しとして、黒島郷友会に3万円。

作業や、開校以来初となる校舎に描かれた校訓のペンキの塗り替えなどの高所作業も行われた。塗り替え作業時に使用する作業車は、同じく近隣の福地電気工事舎から貸し出された。

PTAが運動場整備

八島小 体育発表会に向け準備

が勤務していることで実現した。PTAとして、子どもたちのために運動会を気持ちよく

中地校長は、地域の企業の厚意により大規模な整備が実現したことを受け「人とのつながりが実感できた。子どもたちも素晴らしい運動会になって喜ぶと思う」と感謝した。

伝統継承と繁栄に感謝

敬老会の祝宴の部で余興が披露された10日、富良野市民館



運動場付近の剪定された木を運ぶPTAの皆さん10日、八島小

24日の体育発表会に向け、石垣市立八島小学校(中地秀将校長)で10日、同校PTAの皆さんや教職員など約80人による運動場の整備が行われた。

同校によると、重機によるグラウンド整備が行われるのは3年ぶりだという。

PTA会長の宮良当建さん(41)は「龍生造園にPTAの副会長

富良野市民館(松原秀治館長)は10日午後、同館で2021年度敬老会を開催し、カジマヤ(97歳)の前盛八重さん、88歳の米寿が10人、85歳以上の92人を含む地域住民や家族らで地域の大先輩たちの功績をたたえ、ますますの長寿を祈願した。

対象者には頌状や記念品が贈呈された。

中山義隆市長は祝辞で「地域の伝統を深く愛し守り、次世代へ繋げられたご功績は石垣市にとって大変貴重なもの」と述べ、地域を誇りにする気持ちを込めて、

